

# 調査レポート



とうほう地域総合研究所  
エコノミスト

風 俊勝

## リスク対策に関する県内企業の取組状況について ～2025年度「リスク対策に関する」アンケート調査から～

最近の経済・社会環境の変化により、自然災害やサイバーリスク、コンプライアンスリスクなど様々なリスクが企業活動に影響を与えている。このような状況において、アンケート調査の結果を中心に、県内企業のリスク対策に対しての取組状況などについて考察した。

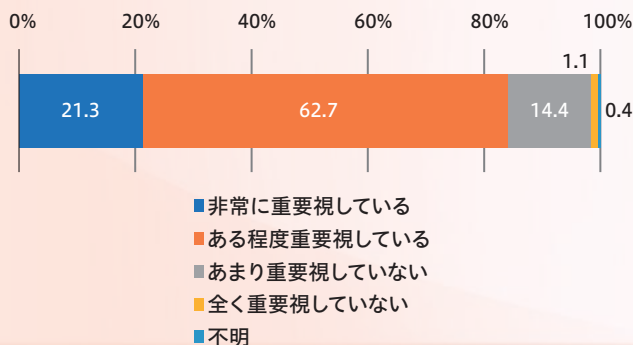
### アンケート調査先

| 調査期間              | 発送先    | 回答数  | 回収率   |
|-------------------|--------|------|-------|
| R 8 / 1 ～ R 8 / 2 | 1,345先 | 445先 | 33.1% |

## I. リスク管理について

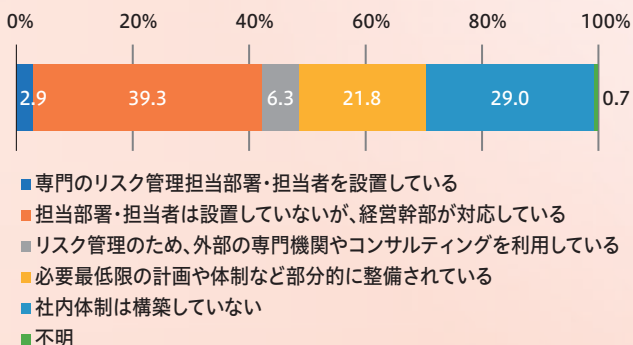
### 1. リスク管理の重要視度

リスク管理を「非常に重要視している」「ある程度重要視している」を合わせた割合は8割を超えており、多くの企業が経営戦略の一環としてリスク管理を重要視している。



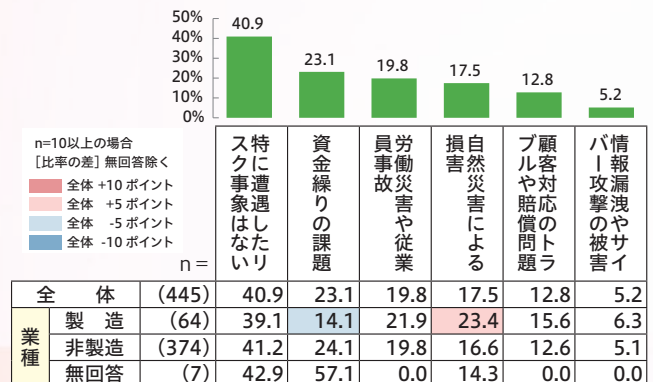
### 2. リスク管理に対する社内構築体制

全体では「担当部署・担当者は設置していないが、経営幹部が対応している」が約4割で最も割合が高く、「社内体制は構築していない」が約3割と続いている。「専門のリスク管理担当部署・担当者を設置している」企業の割合は2.9%とごくわずかである。



### 3. 過去3年間に直面したリスク事象（複数回答）

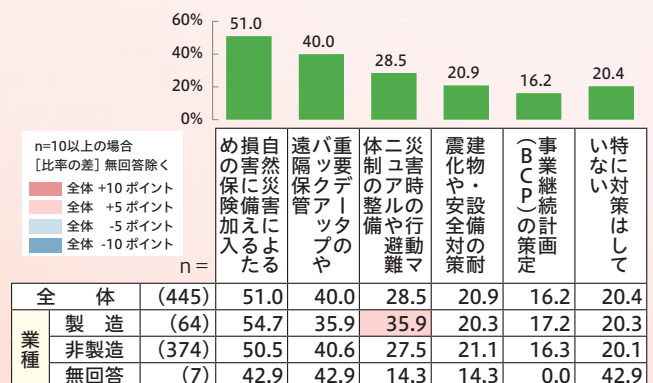
過去3年間に直面したリスク事象では、全体で「特に遭遇したリスク事象はない」が40.9%と最も割合が高くなっている。一方、直面したリスク事象で割合が高いのは、「資金繰りの課題」が23.1%、「労働災害や従業員事故」19.8%、「自然災害による損害」17.5%と続いている。



## II. リスクに対する現状認識について

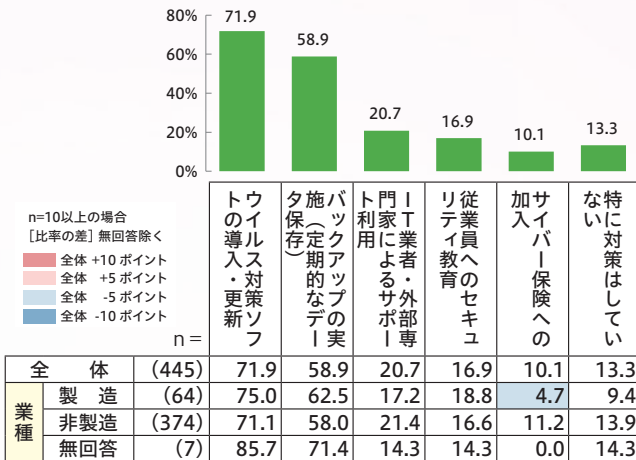
### 1. 自然災害リスク対策（複数回答）

現在実施しているものは、「自然災害による損害に備えるための保険加入」が51.0%と最も割合が高く、次いで「重要データのバックアップや遠隔保管」が40.0%と続いている。



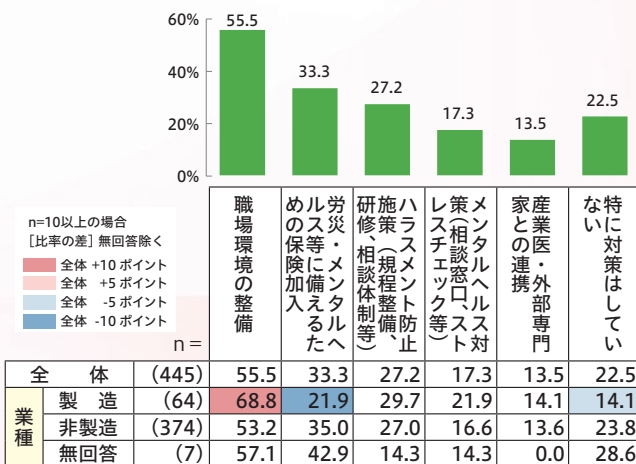
## 2. サイバーリスク対策（複数回答）

「ウイルス対策ソフトの導入・更新」が71.9%と最も割合が高く、次いで「バックアップの実施（定期的なデータ保存）」58.9%と続いている。



## 3. 労働関連リスク対策（複数回答）

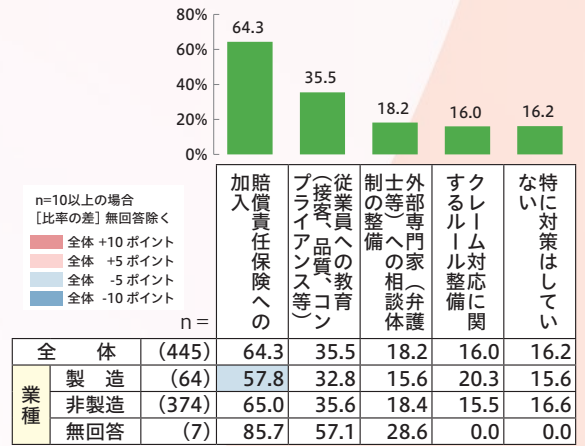
現在実施しているものは、「職場環境の整備」が55.5%と最も割合が高くなっている。「職場環境の整備」は製造業が非製造業より15.6ポイント高くなっている。



## 4. 賠償責任に関するリスク対策（複数回答）

賠償責任に関するリスク対策として現在実施しているものの割合は、「賠償責任保険への加入」が64.3%と最も高くなっている。

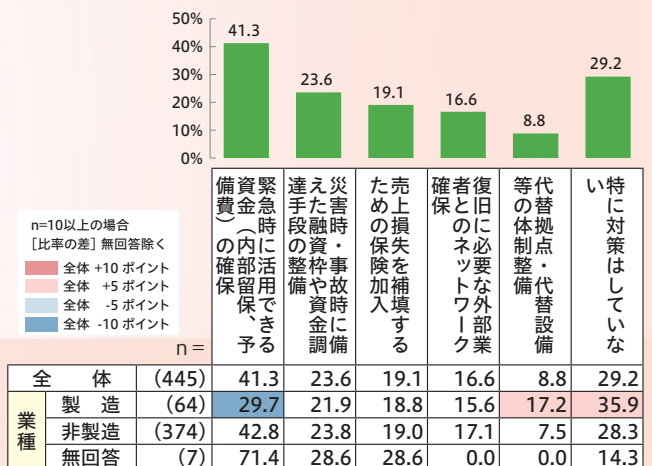
事業活動を継続するうえでの、損害賠償請求の備えや経営の安定化などに繋がる賠償責任保険の加入割合は他の保険に比べて高くなっている。



## 5. 事業中断リスク対策（複数回答）

事業中断リスク対策として現在実施しているものは、「緊急時に活用できる資金（内部留保、予備費）の確保」が41.3%と最も割合が高く、次いで「災害時・事故時に備えた融資枠や資金調達手段の整備」、「売上損失を補填するための保険加入」の順となっている。

事業中断リスクの対策として、緊急時に活用できる資金の準備や、融資枠の設定など保険にあまり頼らない対策をしている企業が多い。



## Ⅲ. まとめ

リスク管理を「非常に重要視している」「ある程度重要視している」を合わせた割合は8割を超えており多くの企業がリスク管理を重要視している。その一方でリスク管理に関する社内体制を構築していない企業の割合は約3割に上っている。

企業の持続的な成長のためには、リスクを適切に認識し、体系的かつ継続的に対応することが重要となっている。

そのためには、県内企業においてもリスク管理に対して迅速・柔軟に対応できる社内体制の構築、業務プロセスの可視化などの環境整備が求められる。